

「健全経営は健全なところから」

～ためておくとは危険な心のストレス～

7月度例会日より



大自青季報
秋 第10号



大阪自動車青年会議所
<http://daijisei.com/>

平成22年10月1日発行

(写真左)神戸メンタルサービス

大門昌代先生

7月度例会が平成21年7月8日(木)にたかつガーデンにて開催されました。「健全経営は健全なところから」～ためておくとは危険な心のストレス～をテーマに神戸メンタルサービスの大門昌代先生にお越しいただいてご講演いただきました。

私たち経営者特有の問題や悩みを常に抱えています

①お金の問題 資金繰り

②従業員との問題

③お客様とのトラブル問題

④そのほかに友人・家族・夫婦の問題

夫婦の問題

経営者としての悩みは多様ですが、そのストレスはそのままにしておくとかやがてそこをむしばむところの病氣「うつ」につながるかとされています。前向きに過ごす方法心身ともに健康・日頃の気持ちの持ち方やストレス解消法についてご講演していただき、今まで気付かず色々な問題にぶち当たってきたと思います、この講演を聞かせていただき良かったです。

大募集！！ 平成22年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒になって活動していただける新入会員を募集しております。

大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月一回例会を開催し、会社経営に関する事、整備技術に関する事、自己のスキルアップにつながる事など、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪青年会議所事務局
 社団法人 大阪府自動車整備振興会内 担当 宮城
 TEL: 06-6613-1191 (振興会 代表)
 ホームページアドレス <http://daijisei.com/>

例会だより (家族例会)



みんなでバーベキュー



アイスクリーム手作り体験



ひつじと遊ぶ子供たち



みんなで記念撮影

平成22年8月1日、兵庫県の神戸市立六甲山牧場にて今年も恒例の家族例会が開催されました。

下見の時は雨が降り、霧で何も見えない状態で、お客も私たちがだけでしたが、当日は非常に良い天気に恵まれました。

今回は長女、次女、次男の三人を連れて参加させて頂きました。が、アイスクリームの手作り体験に始まり、盛りだくさんのバーベキューに舌鼓を打ち、子供達も、初めて会う会員のご家族の子供達と楽しく遊んでいる姿を見ることができました。

私自身バタバタとしている普段の生活の中で、少しでもゆったりとした時間を過ごせたと思います。

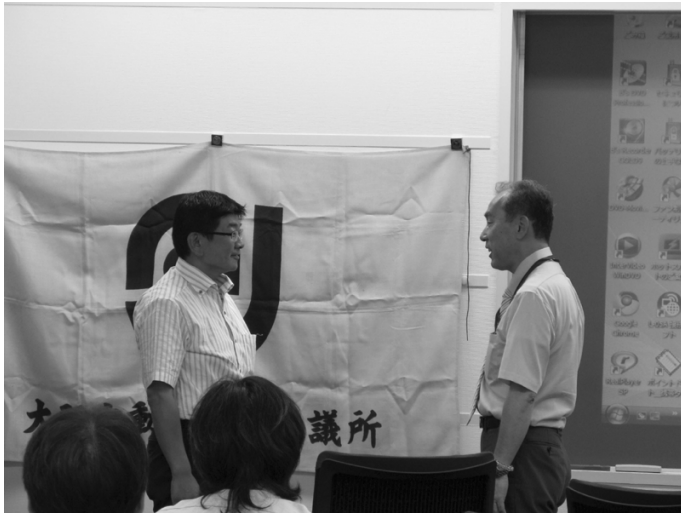
最後になりますが、今年は大きな網を持った変なおっちゃんはいなかった。息子は非常に残念だったそうです。

誰の事かは？と言うことで。

今回も家族例会開催にあたり、朝早くから準備、運営にあたられた方々にお礼申し上げます。

総務委員 嵯峨 豊人会員

例会だより (9 月度例会)



平成22年9月2日、
損保ジャパン大阪自動車
研究所にて9月度例
会が開催されました。

『「商売の秘訣は会
社の空気」→繁盛店を
目指した社員全員での
空気作りとは」をテー
マに損保ジャパン関西
業務部モーターチャン
ネル推進役 中内 匡氏
を講師にお迎えしてご
講演頂きました。

内容としては、活き
活きした職場の雰囲気
作りが大切であり従業
員を含めた会社の良い
空気が又行きたくなる
ような店作りには欠か
せない事、入った瞬間
気持ちの良いお店が繁
盛につながる事を実際
の事例を多数交えて講
演して頂きました。

今すぐに実践してみ
よう、と思える具体策
を勉強させて頂いた実
りある例会でした。

大自青メンバーの新入会員紹介のコーナー!!



(株) ロードカー
代表取締役
柏原隆宏 新会員

この度 7月より入会させて頂きました 株式会社 ロードカー 代表取締役 柏原隆宏と申します。

弊社は1967年に貝塚中古車センターとして創業し、現在、ボルボ正規ディーラーを貝塚、岸和田、大阪中央、千里の4拠点とユーボス事業中古車買取事業を大阪、兵庫、京都、奈良、滋賀 及び愛知に19拠点を展開しております。

ここ数年 自動車業界（ディーラー、中古車買取）は非常に厳しい状況ですが、2013年ビジョンとしまして、CS・ES・CRを基本に『大阪から、日本へ。』を掲げております。このビジョンを達成させる為に 現在社員一人ひとりと個別面談を行いお互いの意思疎通を図っています。

これからは この会で多くのことを学び また広く交友関係も築いていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくご指導のほど よろしくお願い致します。

特別寄稿

～「私と大自青」第5回～



池田義則 会員

平成4年入会 池田義則

私が大自青に入会させて頂いたのは、22歳の時で父親の知り合いの方のご紹介で入会させていただきました。初めは業界の事も何も分からない状態で活動させて頂いていました。そんな中ある会議の場で先輩方が「ああでもないこうでもない」と話し合いをされていて今にも喧嘩が始まりそうになるぐらい、皆が意見を出し合い熱く討論を繰り返されていたのが強く心の中に残っています。それから19年本当に色々な事を経験させて頂きました。その経験があったからこそ今の自分があるのだと思っています。

大自青に入会したお陰で色々な事を勉強させて頂き、入会当時は現場でメカニックとしてやっていましたので、車の販売については全く分からない事ばかりでしたが、色々な方にお話を聞き新車の売り方、中古車の売り方・仕入れ方、下取り車の処分の仕方など色んなこと勉強させて頂きました。そんななか、同年代の仲間もたくさん出来ましたし、近青協(近畿地区自動車青年協議会)を通じ京都・滋賀・兵庫の青年会議所のメンバーとも知り合う事が出来たことがとても良かったと思っています。また、プライベートでもその仲間たちと一緒に遊んだ楽しい思い出も一杯あります。

大自青に入って色々な方々と出会い、人の繋がりが広がった事が自分にとって大切な財産となっています。卒業まであと5年ほどですがその輪をもっと広げたいと思っています。

「エコな交差点」

総務委員会 中野 大作

普段何気なく使っている信号機のある交差点。この交差点にはどのくらいのコストがかかっているのか。信号機の設置費用や電気代、メンテナンス費用等々相当な金額がかかっているに違いない。海外ではよくロータリー(ラウンドアバウト)を見かける。ロータリーには信号機がないためランニングコストは無に等しい。また、信号待ちがないためアイドリング時の燃料消費も少なくなる。まさに「エコな交差点」と言えるだろう。しかも、直進する車が構造上必ず減速しなければならぬため事故も減少するらしい。

しかしながら、交通量の多い交差点ではかえって交通渋滞を招いたり、ロータリーを建設する面積が広く必要であったりと欠点があるのも確かである。

北海道 旭川には日本一大きなロータリーがある。学生時代を旭川で過ごした私は幾度となくこのロータリーを利用した。最初は勝手が分からず「ヒヤヒヤ」しながら通過したものだが、そこには簡単な流れのルールがあり慣れてしまえばなんともない。

現在の交通事情はマナーの悪さが目につくが自分の目で安全を確認するロータリーシステムが普及するためには、他車を思いやる交通マナーが一番必要なのかもしれない。

